



福岡マラソンボランティア募集中!

前中Community School

～「地域とともにある前原中学校」を目指して～



人の役に立とう ～ばるちゅうタイムボランティアコース活動報告～

今年度、本校は文部科学省より「研究開発学校」の指定を受けました。それに伴い、従来の50分授業から45分授業へと変更し、そこで生じた余白の時間を活用して「ばるちゅうタイム」という選択講座を設定しています。これは生徒たちが自由に選び、参加できる授業です。全部で20ある講座の中で、コミュニティ・スクール担当の私が開設したのが「ボランティアコース」です。このボランティアコースでは、“人の役に立とう”をテーマに、自分たちでできることを考え、学校や地域社会に貢献していくことを学習します。

6月10日(水)第1回目の授業では、「徳を積む」という少し硬い言葉を紹介して、「善い行いは、巡り巡って自分に返って来る。そして、結果的に自分の人生を輝かせるエネルギーになる」という視点から、ある動画を視聴しました。

動画を見終えた生徒たちの表情は真剣そのものでした。中には感動から目に涙を浮かべる生徒もいました。「誰かのために動くことは、巡り巡って自分や社会を優しくすることなんだ」と、“徳を積む”という言葉の意味を肌で感じ取ってくれたようです。

さあ、ここからが「ボランティアコース」の本番です。この学びを一步進め、「じゃあ、今の自分たちにできることって何だろう?」ということで「オリジナルボランティア企画書」を作成しました。学校の中の小さな気づきから、一歩外の地域社会の困りごとまで、生徒たち自身が自ら課題を見つけ、実際の行動(ボランティア活動)へと移していく予定です。

6月15日(月)の第2回目の授業では、さっそく実践編へと突入しました。今回は学校からの依頼に応え、通常の掃除時間にはなかなか手が回らない「テント倉庫」と「非常階段」の清掃活動を行いました。



埃まみれの倉庫や、落ち葉がたまっていた非常階段を前に、生徒たちは「よし、やろう!」と腕をまくり、熱心に掃除に取り組みました。誰も見ていないかもしれない場所を、誰かのために黙々と綺麗にする姿は、まさに前回学んだ「徳を積む」実践そのものです。終わった後、綺麗になった場所を見て「すっきりした!」「次に使う人が気持ちよく使えたら嬉しい」と、汗を拭いながら笑顔で語る生徒たちの姿が非常に印象的でした。

今後は、生徒一人ひとりが「学校や地域社会のために、自分ができるボランティア活動」を具体的に考え、実行に移していく展開となります。知恵を絞り、汗を流し、小さな一歩から地域へ貢献していく生徒たちの挑戦を、ぜひ温かく応援していただければ幸いです。この「ばるちゅうタイム」以外にも、地域から頼りにされる、応援される前中生を目指して、「前中クリーンアップ作戦」や「幼稚園・保育園のお手伝いボランティア」など、様々なボランティア活動を企画しています。ご家庭でもぜひ「今日、どんな徳を積んだ?」と話題にしてみてください。

タイの生命保険会社のCM『Unsung Hero

(名もなきヒーロー)』

「徳を積む」という行為が、目に見えないけれど



確実に世界を優しく変えていく

様子が美しく描かれており、大

人でも涙する名作です。